

Que Será, Será

VOL.14
1998
AUTUMN



浜野 美江氏 撮影

◆ パニック障害患者の心性(2)

医療法人 和楽会 理事長 貝谷久宣



患者さんの診察をしていると「なぜ？」と思うことが多々あります。「せんせい！わたし、カラオケに行くと言作を起こしてしまわんです！」とある30代の主婦が訴えます。「ハハハ…カラオケボックスの狭い部屋が息苦しいのだな。この患者さんは閉所恐怖症があるんだ」とわたしは一人合点をしました。しかし、よく話を聞いてみると閉所恐怖症のためではなかったのです。彼女はカラオケが大好きで完全に扉が閉まった防音装置付きのカラオケボックスの中でも平気です。しかし、「今から3曲目が自分の番」と思っている時に奥さんの歌を聴いている時に発作が起きてしまうのです。どうも、パニック障害

の患者さんは順番を待つことが大変苦痛のようです。そういえば、スーパーマーケットでパニック発作を起こす患者さんはパーパーの中が人混みで逃げ出せないので、それが原因の時もありませんが、しかし、それよりも、レジで順番を待っている時のほうが発作が起こりやすいようです。自動車の運転中に信号待ちになっても発作が起きます。電車がポイント切り替えで一時停車をしてもいけません。先日、中央線が列車事故で立ち往生して止まったとき、発作が起きそうになったと訴えた患者さんが何人かいました。パニック障害の患者さんは「待つ」ことが大変苦手のよう